

常任委員会 / 所管事務調査・視察研修

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に
関わる委員会です。

所管事務調査

7月9日、8月19日に委員会を開催し、第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定および第3次多文化共生推進計画の策定、(株)あいコムごうかの経営状況について所管事務調査を行いました。

第2次まち・ひと・しごと創生 総合戦略の策定方針(案)

現在の計画は平成27年度から令和元年度までの5年間で期間としており、計画に基づきこれまで交付金5億7千万円を受けています。同計画は国庫補助金等の特定財源を受けるためにも必要な計画であり、第2次の策定方針(案)について調査しました。

第3次多文化共生推進計画の策 定方針

現在の計画は平成27年度に策定され、5年を経た今、外国人を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、本市の実情に即した計画の見直しを行うものです。第2次計画は令和2年度から10年度までの9年間で計画期間としており、その策定方針について調査しました。

(株)あいコムごうかの経営状況

平成30年度の売上高は7億800万円、税抜後の当期純利益は1億1300万円といずれも過去最高となりました。一方、令和元年度の損益計算については売上高は7億100万円、営業利益は1億2800万円と前年度を上回る計画となっているものの、旧施設の撤去により当期純利益は前年度を下回る見込みです。



土土地域市民センターの6階には
あいコムのスタジオが

視察研修

7月11日、12日の2日間、自治体の経営効率及び市民サービス、公民連携の2点の課題について東京都葛飾区と神奈川県横浜市において視察研修を行いました。

東京都葛飾区



葛飾区では「葛飾区総合アプリ」と「おもてなしができる職員の育成」について研修しました。研修では広報紙をはじめ自治体の紙媒体の限界を感じさせる内容であったとともに、職員のおもてなし研修については、市民ニーズに応えるためにはどうあるべきか若手職員などの研修は本市においても参考にすべきと考えます。

神奈川県横浜市

横浜市では「横浜市における公民連携の取り組みについて」研修しました。

同市では大学や民間企業、NPOや市民との連携を関係機関と行政との対話をキーワードに進められています。組織では共創推進室を設置、公民連携のハブの役割を担っており、次の時代の都市間競争に打ち勝つためには、今、進めなければならぬことばかりであると感じました。



常任委員会 / 所管事務調査・視察研修

厚生文教常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

所管事務調査

7月11日、8月20日、10月10日に委員会を開催し、待機児童対策および文化財保存活用地域計画(案)、市内医療機関の経営状況等について所管事務調査を行いました。

保育所等利用にかかる待機児童対策

甲賀市における待機児童は平成31年4月1日現在27人で、前年4月1日に比べ21人の減となっています。その他に^{*}かくれ待機児童は45人いますが、市では待機児童対策として水口地域公立保育園の整備や地域型保育の推進を行っています。また、人材確保対策にも力を入れていきます。

※かくれ待機児童…特定の保育園等を希望している者・育児休業中の者

文化財保存活用地域計画

平成30年の文化財保護法の改正に伴い、市民一人ひとりが地域の歴史や文化を見直し、後世に伝えていくことを目的に計画の策定に取り組んでいます。



Q 地域の声をどのように計画に組み込んでいくのか。

A まずは地域で話をさせていただき、地域の思いに市が寄り添っていく。

Q 計画策定に伴う予算の確保は。 A 特定財源を入れることにより文化財予算を広げていきたい。

市内医療機関の経営状況

10月10日開催の委員会では市内医療機関の経営状況について所管事務調査し、現地視察も行いました。特に信楽中央病院の経営状況は厳しく、今後、患者数の増加が急務です。



増患対策が急務な信楽中央病院

視察研修

8月5日、6日の2日間、神奈川県藤沢市と神奈川県横浜市のゆうのもり幼児保育園において視察研修を行いました。

地域包括ケアシステム

藤沢市では「誰もが住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けることができるまち」を将来像に「藤沢型地域包括ケアシステム」に取り組んでおられ、市民センター・公民館を中心とする各地域の特性を活かし、地域ぐるみの支えあい体制の構築に向け取り組みを行っています。



藤沢型地域包括ケアシステムを学ぶ

ゆうのもり幼児保育園

ゆうのもりのもり幼児保育園は大きな吹き抜けの園舎の上部に子どもたちが自由に遊べるネットがある。



吹き抜けの上部には自由に遊べるネットが

り、階段などを使得って自由に入出りできる構造となっています。また、保育方針や保育の目標、保育内容についても子どもの成長や生きる力を育む内容となっており、遊びを中心に心と体の成長につなげる保育方針が端々に感じられ、施設面、運営面共に素晴らしい取り組みでした。



吹き抜けの明るい園舎

常任委員会 / 所管事務調査・視察研修

産業建設常任委員会

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。

所管事務調査

7月24日に委員会を開催し、現地3か所の所管事務調査と7件の報告を、また、8月19日開催の委員会では、現地3か所の所管事務調査と5件の報告を受けました。

国道422号大石東バイパス整備事業視察

平成30年2月25日に開通した伊賀市内の三田坂バイパスと大石東バイパスが開通することで、信楽地域を經由して大津地域と伊賀地域が最短で結ばれます。道路整備により信楽地域から大津地域や伊賀地域へのアクセスが向上し、地域間交流の活性化が期待されます。



令和元年5月26日に開通した瀬田川令和大橋

永谷池視察

平成29年の台風21号により被害を受けた甲賀町五反田の永谷池の災害復旧工事は、当初平成31年3月29日完了の予定でしたが、事業が遅れ国庫補助が受けられず、一般財源で対応されました。遅れていた工事が令和元年5月31日で完了となったことから現地の視察を行いました。



復旧工事が完了した永谷池

その他、次の4件について所管事務調査を行いました。

- ・ロケーション推進事業
- ・公園管理
- ・信楽伝統産業会館
- ・付替県道大津信楽線

視察研修

8月1日、2日に静岡県熱海市と沼津市において「リノベーションまちづくり」について視察研修を行いました。「リノベーションまちづくり」とは、今あるものを活かし、新しい使い方をし、まちを变えることです。

静岡県熱海市



リノベーションスクールの様子

静岡県沼津市

首都圏に近い沼津市においても人口減少など時代の変化・環境の変化から、新しいまちづくりを進めようと民間主導の「リノベーションまちづくり」が推進されています。利用者が減少し解体も計画されていた「少年自然の家」を活用し、泊まれる公園にリノベーションされた「INNTHEPARK」を視察しました。



公園内テントエリア

熱海市は古くからの温泉観光地ですが、昭和40年代前半をピークに人口も観光客も減少、空き店舗も増え景観を悪くするなどの問題が起きました。これに対し、起業支援やリノベーションスクールの開催など、まちの賑わいを取り戻すための様々な取り組みについて説明を受けました。